

平成 24 年度 キーパーソン養成講座 第 2 回目 (8 月 9 日)

お便り

～ワーク・ライフ・バランス実現に向けて“出来ないから出来るに”～

第 2 回キーパーソン養成講座の要約をお送りいたします。この『便り』は、毎月 1 回、講座の内容についてご報告させていただき、受講生の方々にお送りします。この『便り』をもとに、自社及び自組織の関係者の方々とワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和、以下 WLB）の実現推進について、お話しいただく機会をもつていただければ幸いです。

■第 1 部：WLB 関連制度～育児・介護休業制度

講師：大津恵美子氏

「自分が知っていることを誰もが知っているとは限らない」

育児・介護休業法や関連制度の説明は、事前にお送りした「育児・介護休業規定チェックリスト」にそって進められ、その場で質問が与えられ、話し合うというグループ実習もあり、皆様、積極的に話し合われました。制度運用の説明では、こうした制度は人事・労務担当者が知っているだけでなく、全従業員が知っていることが大切と話され、周知徹底のための有効資料として、講師自らが作成、活用されていた制度一覧表などを紹介されました。自分にはまだ無関係で必要ないと思っていることが、いつ自分に、あるいは部下や周りの人に必要になるかわかりません。制度がいくら充実していても、十分に認知、活用されていなければ無意味です。最後に、使える制度があることと、その制度を使える組織風土があることが、従業員がハッピーに働き続けられる組織を作るものだと言われ、講義を締めくくられました。アンケートでは、『知識や理解度の再確認ができた』『最近、育休取得者が増え、手続き等でトラブルもあり参考になった』などのご意見がありました。



■第 2 部：制度と人財を活かす組織風土づくり

講師：森野和子氏

～知る、つくる、考える、活かす～

前回のグループワークの振り返りと、WLB の再確認から始まった第 2 部。制度は作ったけれど活用されにくい背景にある意識（性別役割分担意識）に気づくこと、推進するキーパーソン自身の“マインド”を確認するとともに、“自分ごと”としてとらえることの重要性についての説明がありました。また、自社の取り組み状況を把握したうえで、さらに推進するためのヒントが紹介されました。

グループワークでは、「どんな職場にしたいか」「そのために自分が出来ること」について話し合いました。『コミュニケーションやチームワークが良い』『個性が活かせる』などが理想の職場像として挙がり、そのために『ここで学んだことを職場で発表し、経営陣に WLB の必要性を理解してもらう』『業務分担の仕組みを変える』『WLB 推進の仲間を作る』『思い切って休む！帰る！』など、「自分が出来ること」が積極的に出ました。最後には、各自が『明日から〇〇します!』と行動宣言をし、それぞれの実践を誓いました。配布された資料（現状と理想の時間の過ごし方をチェックするワークシート）は、実践に向けてご活用ください。

アンケートでは、『“やれでやる”ではなく、“やるでやる”！すべての物事を推し進めるのは意志によるものだという事を再認識した』『WLB について、今後、自分が進むべき第一歩が見えた』などのご意見がありました。

■次回の講座に向けてのお知らせ：

今回は、9 月 13 日（木）の午後 1 時半～5 時半、会場は兵庫県中央労働センター 1 F 小ホールです。
今までとは会場が異なりますのでご注意ください。

■今後の予定

当講座は 5 回の連続講座です。全講座に参加された方には修了書を授与いたします。授与式は 11 月 2 日（水）午後、兵庫県公館で行います。ぜひ皆様、ご出席いただきますよう、予定を空けておいてください。